

◆いのちのつながりについて学ぶ授業

北区豊崎小学校区はぐくみネットの取組

- ・北区の「smile pocket」のみなさんが取り組まれている「いのちのふれあい授業」におじゃましました。「smile pocket」のみなさんは西淀川区の NPO 法人「にしよどにこネット」で取り組まれている「いのちのふれあい授業」に感動し、ぜひ北区の小学校でも実施したいと思い、「にしよどにこネット」にノウハウを学び、取り組んでおられます。



- ・5年生対象に授業が行われました。
- ・まずはじめに、「smile pocket」の方から、小豆が配られ、はじめは、本当にこんな小さなところから命は始まるということや、母親のお腹の中でどんなふうに大きくなっていくのか、手作りの教材をもとにお話がありました。
- ・実際の出産を記録した動画を視聴したあと子どもたちは3班に分かれて順番に、

- ① 妊婦さんのお腹にふれてみる、
- ② お腹に子どもがいる重さを実感できる3キログラムの「妊婦ジャケット」をつけて妊婦さんのたいへんさを体験する、
- ③ 首のすわっていない赤ちゃんと同じくらいの身長・体重の人形をだっこする ということ実際に体験しました。



- ・「smile pocket」の中村さんからみんなこうして生まれて、大きくなってきた、これからいろいろなことがあると思うけれど、困ったときは周りにいる信頼できる大人に相談してほしいというお話がありました。
- ・子どもたちはいのちの不思議さを感じ、自分もこうして育ったという想像力を働かせ、集中して、楽しく、授業に参加していました。

- ・中村さんから、この取組でいちばんねらいとしていることは子どもたちに家庭へ帰って、保護者にこの授業を受けたということを話してほしい、それにより、子どもたちが生まれたときのこと、小さかった頃のことを保護者とふりかえることができる、大人もふだん日々の仕事に追われて、こうふりかえりの時間を持ってないから、子どもたちと生まれたときのこと、小さかった頃のことを話してほしい、ということでした。

- ・校長先生からもこうした取組は学校だけではできない、「smile pocket」のような地域の方の熱意やご協力ではじめて実現できるものであり、子どもたちにとってもとても意義がある、との感想を聞かせていただきました。

